

ほんばこ



愛媛県立今治西高等学校図書委員会 2020

寒さがだいぶ和らぎ、温かく過ごしやすくなりました。新型コロナウイルスが猛威を振るっています。健康には気を付けて過ごしましょう。また、外出できない状況が続くと思います。この機会に様々な本を読んでみてはどうでしょうか。

3月 (弥生・花見月・桜月)

二十四節気

啓蟄 5日

大地が暖まり土中で冬眠していた虫たちが、春の訪れを感じ、穴から出てくる頃です。

春分 20日

太陽が真東から昇って真西に沈み、昼と夜の長さがほぼ同じになる頃です。この日から夏至まで、昼がだんだん長くなり、夜が短くなります。

図書研修課よりお薦めの本

『シートン動物記 狼王ロボ』 シートン 著 藤原 英司 訳 集英社文庫

人間の仕掛ける罠をあざ笑うかのように逃れて、コランポー一带の農場を荒らしまわる狼王ロボ。しかし、ロボにも弱点があった…。

この本には、大きなオオカミであるロボと人との戦いを描いた表題作以外にも「灰色グマの伝記」、「カンガルーネズミ」、「サンドヒルの雄ジカ」の3作も収録されています。いずれの話も自然での動物たちの営みや脅威を表現したものになっています。また、人間と動物の関係についても描かれています。「狼王ロボ」では人間がどのようにロボと戦いロボをとらえたのか、「カンガルーネズミ」ではカンガルーネズミの生態について書かれており、「サンドヒルの雄ジカ」は狩人と鹿の戦いが描かれています。それぞれの話がシートンの経験談をもとに書かれているので、現実味がありほかの小説とは違うところがあります。ぜひ読んでみてください。

(図書研修課 N) (本の帯のあらすじ紹介を参照)

休業中の図書館利用について

- ・休業中は閉館しています。※ただし、本の返却ができていない人は返却に来るようにしてください。(特に県立図書館の本の返却は確実にしてください。)

世界史・日本史を選択していない人のための読書案内

高校～大学2年くらいまでに読んで補強するとよいかもしれない本 その2

R2.3

1 世界史を選択していない人のための読書案内

シュリーマン『古代への情熱』トロヤ発掘。立志伝としても面白い。

橋場 弦 (はしばゆずる)『民主主義の源流』講談社学術文庫 古代ギリシアの民主主義。

橋場・桜井他『古代オリンピック』岩波新書。

加藤 隆『歴史の中の「新約聖書」』ちくま新書。 山形孝夫『治癒神イエスの誕生』ちくま学芸文庫。

弓削 達 (ゆげとおる)『ローマはなぜ滅んだか』講談社現代新書 古代ローマ。

辻 邦生 (つじくにょ)『背教者ユリアヌス』(小説)ローマ皇帝、ササン朝ペルシアと戦う。

ベンジャミン・フランクリン『フランクリン自伝』(自伝)アメリカ独立のころ。

トルストイ『戦争と平和』(小説)ナポレオン戦争におけるロシア。



ユゴー『レ・ミゼラブル』(小説) ナポレオン戦争よりあと、1830年代まで。
スタンダール『パルムの僧院』(小説) ナポレオン戦争よりあと、ウィーン体制下。
フォークナー『アブサロム、アブサロム!』(小説) アメリカ、南北戦争後。
ドストエフスキー『罪と罰』(小説) ロシア、農奴解放後。
スタインベック『怒りのぶどう』(小説) アメリカ、ニューディール政策下。
ティム・オブライエン『待ちぶせ』(小説) アメリカ、ベトナム戦争。

加地伸行『孔子 時をこえて新しく』集英社文庫 中国春秋時代。
宮城谷昌光(みやぎたにまさみつ)『重耳(ちょうじ)』(小説) 中国春秋時代、晋の文公。
『孟嘗君(もうしょうくん)』(小説) 中国戦国時代。『奇貨居(お)くべし』(小説) 中国戦国時代、呂不韋。
陳 舜臣(ちんしゅんしん)『耶律楚材(やりつそざい)』(小説) 中国モンゴル時代。
『阿片戦争』(小説) 中国、清朝末期。『小説 日清戦争』(小説) 朝鮮半島、中国、日本。
浅田次郎『蒼穹(そうきゅう)の昴(すばる)』(小説) 中国、清朝末期。
パール・バック『大地』(小説) 中国近現代。

小杉 泰『イスラームとは何か』講談社現代新書。
勝俣 誠『新・現代アフリカ入門』岩波新書。

2 日本史を選択していない人のための読書案内

吉田 孝『「日本」の誕生』岩波新書 古代。
田辺聖子『文車日記(ふぐるまにつき)』平安文学にも多く言及。大塚ひかり『カラダで感じる源氏物語』。
本郷和人『謎とき平清盛』文春新書。 天台座主慈円『愚管抄』。
城山三郎『秀吉と武吉』(小説)秀吉と村上海賊。 渡辺京二『日本近世の起源』洋泉社新書 戦国。
古川愛哲『教科書には載らない日本史の秘密』祥伝社新書 氷河期～幕末。
菅野覚明(かんのかくみょう)『武士道の逆襲』講談社現代新書。
本郷和人『なぜ武士は生まれたのか』文春文庫。
司馬遼太郎『菜の花の沖』(小説)江戸末期、北方蝦夷地。対露ロシア。いかに戦争を回避するか?
子母澤寛(しもざわひろし)『父子鷹(おやこだか)』(小説)幕末、勝小吉と麟太郎。
司馬遼太郎『世に棲(す)む日々』(小説)幕末、松下村塾の松陰や高杉ほか。『峠』(小説)長岡藩。
陳舜臣『小説 日清戦争』(小説)日清戦争。司馬遼太郎『坂の上の雲』(小説)日露戦争。
内村鑑三『代表的日本人』西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮。
新渡戸稲造(にとべいなぞう)『武士道』明治武士道の代表。
色川大吉『明治精神史』自由民権運動に詳しい。
大岡昇平『レイテ戦記』太平洋戦争、レイテ島の兵士の記録。 竹山道雄『ビルマの豎琴』(小説)ビルマ。
沖縄タイムス社『鉄の暴風』、曾野綾子『生贄の島』:沖縄戦。
城山三郎『指揮官たちの特攻』新潮文庫 神風の関行雄と終戦時の中津留。
大江健三郎『ヒロシマ・ノート』、原民喜『夏の花』(小説)、永井隆『長崎の鐘』:原爆。
藤原てい『流れる星は生きている』(小説)第2次大戦、満州からの逃亡。
高杉一郎『極光のかげに』岩波新書 シベリア。
吉田 裕『アジア・太平洋戦争』岩波新書。 半藤一利『昭和史』平凡社。
池澤夏樹『カデナ』(小説)新潮文庫 沖縄、嘉手納基地とベトナム戦争。
田中康夫『なんとなく、クリスタル』『33年目のなんとなく、クリスタル』(小説)昭和から平成。